

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現場における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	今まで、併設の特養と合同で避難訓練を実施していた。	グループホーム単独の避難訓練を実施する。	グループホーム単独の避難計画(避難経路の確認、役割分担、連絡網の整備など)を策定し、実際に訓練を実施する。	6ヵ月
2	9	広報等に入居者様の写真を掲載している。使用する際の下承について、契約書等に同意の項目が盛り込まれていない。	契約書に写真(個人情報)使用についての同意する項目を追加記載する。	同意する項目を追加記載した契約書を作成し、家族からの同意をもらう。	6ヵ月
3	20	コロナ禍により、地域活動や行事を活発にすることが難しい。	冬期間を除いてのドライブ、事業所内で行事を行う。	コロナ禍により制約のある中ではあるが、マスク着用や消毒を徹底して桜の季節、紅葉の季節には車窓から景色を観て気分転換に心掛ける。また出前料理を頼んだり、職員と入居者様が協力してバイキングを開催するなど、変化のある食事を楽しむようにする。	6ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。